

在宅医療の最新情報配信

クリニコ

音声番組／医師2名が出演



三木誓雄医師



川原林伸昭医師

森永乳業グループのクリニコ（東京都目黒区）は在宅医療をテーマとした音声番組「Podcast 在宅クリニック」本日より開始した。2名の在宅医の掛け合いを通じて、在宅医療の「今」を理解できる内容となっている。

高齢者の増加に伴い、在宅医療のニーズ・重要性が高まっているなか、同社はかねてより医療従事者向けに在宅医療における栄養管理の啓発セミナーを実施してきた。また、

一般向けに「がんと栄養」をテーマとした動画コンテンツの配信や、困りごとや疑問点を講師に相談でき、当事者同士で交流を図れるウェブ座談会などを主催してきた。

これらの活動を通じて、①患者・家族だけでなく、医療従事者も在宅医療の実態や栄養管理の重要性を知る機会が限られている、②在宅医療には所属が異なる多職種が関わるため、栄養管理に関する共通認識が乏しい、という2つの課題が見えてきたという。

そこで、患者や家族との接点を増やすため、また、多職種と情報を共有するためのツールとして、同番組を開設。在宅療養中の患者や家族、在宅医療に携わる医師・看護師・

ケアワーカーなどの専門職向けに情報を発信する。医療法人社団碧水会・昌健会の三木誓雄理事長と城西在宅クリニック・練馬の川原林伸昭院長の2名の在宅医が出演。在宅医療の意義とそれを裏付ける過去の臨床経験、在宅医療の未来などについて語り合う。アシスタントはクリニコ社員の坂本純子氏。医学雑誌「LANCET」や「NEJM」の医学論文やゲストの研究を紹介し、わかりやすく最新医学や栄養

療法に関する話題を提供するほか、テーマごとにゲストが登場し、ドラマ風に在宅医療の現状を伝える。

栄養学に詳しい三木医師は、「終末期においては、いかに口から栄養を摂れるかが大事。当番組では特に、在宅医療における栄養摂取の重要性について発信していきたい。今後は画像を入れたり、当事者と交流したりする場も創りたい」と展望を語る。

また、2021年に在宅クリニックを開業した川原林医師は、「在宅医療に対して、不安や恐怖を感じる人が少なくない。番組を通じて、在宅医療を身近に知ってもらうことで、新たな選択肢を示したい」と想いを語る。

